

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172902504		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム ユニティー旭神		
所在地	北海道旭川市旭神2条4丁目10-4 (電話) 0166-66-1294		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年12月10日	評価確定日	平成19年12月12日

## 【情報提供票より】(平成19年7月3日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年1月25日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤16人, 非常勤	人, 常勤換算 13.55人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 2~3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	15,000~20,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 350円
	夕食	500円	おやつ 50円
	または1日当たり 1,200円		

### (4) 利用者の概要(7月3日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	7名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 78.4歳	最低	62歳	最高	92歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川南病院・やわらぎ泌尿器科・矢口歯科
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置し、RC構造の3階建ての建物で1階部分には、デイサービスセンターが併設された複合施設の中のグループホームです。また、敷地は広く職員や来訪者が駐車できるスペースが確保されていると共に畑では、茄子やきゅうりなどの野菜も作られ利用者から学んだり、支えあう関係を築いています。法人全体の経営理念、福祉三原則、目標設定をしてそれらが共有されていたり、事業所独自の理念の実践に向けて方針を明確にして個々の職員の目標の達成度の判定も行われP-D-C-Aのサイクルが確立されシステムが整っています。職員の研修意欲も高く、法人内に研修委員会が設置され職員をサポートし、ケアサービスの質の向上に取り組まれています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、周辺施設への理解や働きかけについて取り上げられていましたが、運営推進会議の委員にコンビニエンスストアの役員、民生委員の参画で近隣の幼稚園児との交流や中学生の体験学習の受け入れなど地域に対して理解や働きかけに取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価については、全ての職員が参加して議論され新たな気づきの場として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。その議題は ホーム主催の行事の報告と取り組みについて 幼稚園児との交流促進について 中学生の体験学習の受け入れとその取り組みについて 他同業者との合同救急救命訓練実施について 次回の運営推進会議の取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月「グループホームユニティー旭神通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など報告して意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、家族も参加する運営推進会議では忌憚りの無い意見交換も行われ、そこでの貴重な意見が運営に反映される取り組みが実践されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して、敬老会や盆踊り、清掃作業参加を通じて地域の人達との交流に努められています。また、近隣への散歩やスーパーでの買い物、ポリテクからの実習生や中学生の体験学習の受け入れ、幼稚園児との交流、地域の人達の運営推進会議への参加など日常生活を通じて地域との連携が行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の経営理念、福祉三原則、目標設定が職員に共有されていたり、事業所独自の理念の実践に向けて方針を明確にして個々の職員の目標の達成度の判定も行われP-D-C-Aのサイクルが確立されシステムが整っています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念の実践に向けて、方針を明確に定め理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		特筆すべき点として、職員個々の目標が明確にされ、その達成度が評価されている。他にあまり例を見ない素晴らしい取り組みです。今後も継続して、ケアサービスの質の向上に利用されていくことを祈念しております。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、敬老会や盆踊り、清掃作業参加を通じて地域の人達との交流に努められています。また、ポリテクからの実習生や中学生の体験学習の受け入れ、幼稚園児との交流、地域の人達の運営推進会議への参加など日常生活を通じて地域との連携が行われています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については、全ての職員が参加して議論され新たな気づきの場として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については家族や運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、評価日現在4回開催されている。メンバーは家族、町内会役員、商業施設役員、民生委員、他事業所の介護支援専門員、施設長及び管理者・職員で構成されて幼稚園児との交流促進についてなど具体的に取組んでいる。</p>		<p>今後は、行政や地域包括支援センターのアドバイスを受けながら、さらに具体的な会議の運営について検討されている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者及び地域包括支援センターとの連携の重要性について理解し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「グループホームユニティー旭神通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など報告して意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族も参加する運営推進会議では忌憚の無い意見交換も行われ、そこでの貴重な意見が運営に反映される取り組みが実践されています。また、苦情受付窓口も明確にして、意見箱も玄関入り口に設置されています。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>毎月「グループホームユニティー旭神通信」を発行して、職員の紹介記事が掲載されたり、玄関には全ての職員の写真を掲示するなど情報提供されています。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修意欲も高く、法人内に研修委員会が設置され職員をサポートし、ケアサービスの質の向上に取り組まれています。また、外部の研修参加を奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、月一度事例検討会も開催され職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と合同で救急救命の訓練を実施したり、グループホーム協議会での研修参加で他施設との交流が行われるなど開かれたグループホームである。		管理者・職員の研修意欲も高く、他グループホームとの相互訪問や研修の機会を増やすなど検討されている。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、継続して場の雰囲気に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑では、茄子やきゅうりなどの野菜も作られ利用者から学んだり、職員も利用者と一緒に食事の準備や和やかに食事をしたり、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや希望を尊重して、散歩や買い物、忠別ダムや道の駅へのドライブなど外出の機会を多く作ったり、畑で野菜作りをするなど趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握などの取り組みが行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、時々々の要望に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物、入浴など柔軟に支援を行っている。また、併設されているデイサービスの見学なども行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者一人ひとりの主治医や協力医療機関との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われ、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけが取り組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いや意向を尊重して、散歩やスーパーでの買い物、忠別ダムや道の駅へのドライブなど外出の機会を多く作ったり、食事の準備、畑作業など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週2回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、入浴時間についても本人のペースに合わせ入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら畑作業や野菜の収穫、歌唱、食事の準備や後片付け、散歩や買い物、ドライブなど気分転換ができるように外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やスーパーでの買い物、ボランティアによるフルート演奏やマジックショー見物、花菜里ランドや道の駅までのドライブなど外出の支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけずに自由に出入りできるケアに取り組んでいる。また、徘徊のある利用者にも職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>資格を持った防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されている。また、ホットライン・消火設備についても点検が実施され対策されている。</p>		<p>今後は、運営推進会議の委員や近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して、日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量がチェック表に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い廊下や居間では、利用者が気になる音の大きさや臭いは感じられない。また、廊下や居間には、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。リビングには、畳のコーナーも設けられ気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、清潔感が漂い、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。